

<h1>第304回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長	企画運営委員
	増田	

- ◎ 日時 2018年8月24日(金) 10:00~16:30
- ◎ 場所 きゅりあん 6階 中会議室
- ◎ 出席者 32名(法人会員:25名 個人会員:7名 オブザーバ:なし)

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

① 企画運営委員長挨拶

今月は、皆さんにご興味を持っていただくテーマや職場での課題をテーマとして取り上げました。今後も、皆さんの会社や職場の課題を取り上げてディスカッションし、お役に立てる情報を提供していきます。

② 会員からの要望・質問・課題提起

ブラジルに輸出するにあたっての輸出先規格への適合等について、会員の皆さんから情報やアドバイスをいただきたい。

⇒ 皆さんからの提供情報を事務局で取りまとめます。

2) 定例報告

① 第303回月例会・第29回企画運営委員会の概要。

詳細は「第303回月例会議事録」参照。

8/26に、安全技術普及会主催の講師育成説明会を開催する。今日出席されている会員で希望される人は事務局にご連絡いただき、参加してください。

② 第28回関西月例会・関西委員会活動報告概要。

詳細は「第28回関西月例会議事録」参照。

労働安全、機械安全、機能安全等の体系化の活動を開始した。

2. 「ロックアウト/タグアウトの導入について」

アズビル・トレーディング 五十嵐氏 13:00-15:00

ロックアウト/タグアウト機器と導入事例を紹介。(詳細は配布資料を参照)

- ① ロックアウト・タグアウト導入手順：五十嵐氏
- ② 法規制と関連安全規格：企画運営委員 梶岡

労働安全衛生規則の解説

労働安全衛生規則の第107条は、第2項で「当該機械の起動装置に錠を掛け、当該機械の起動装置に表示板を取り付ける『等同項の作業に従事する労働者以外の者が当該機械を運転することを防止するための措置』を講じなければならない」と規定され、「等」の「措置を講ずること」が義務付けられている。

配布資料 2部

資料 304-2-1 「ロックアウト・タグアウト導入手順(参考資料)」

資料 304-2-2 「LoTo と付加保護方策(OSHA, ISO/JIS、労働安全衛生規則、他での該当事項)」

3. 討議テーマ

「ISO 14120 : 2002 の操作力や ISO/TS15066 動力と力の制限について」

アイシンAW 奥野氏 15:10-15:40

【概要説明】

ISO14120:2002(JIS B9716:2006)では操作力、ISO/TC15066 では動力と力の制限等について規定されている。産業用ロボットの場合、取り付けるエンドエフェクタの形状によっては小さな力であっても労働災害に至る場合がある。このような場合の操作力や力の制限について、どのような基準を参考にして設定するのか、について討議を行い判断の為の理解度を深める。

結論

エンドエフェクタに刃物を使えば1Nであっても災害につながる。ISO10218-2「ロボット及びロボティックデバイス-産業用ロボットのための安全要求事項-第2部:ロボットシステム及びインテグレーション」では、エンドエフェクタを含んだRAが必要。各社の使用実態に合わせた適切なRAを実施し、判断することが重要。

4. 報告テーマ「リスクアセスメント委員会第4回開催結果報告について」

担当 リスクアセスメント委員会 15:40-16:30

【概要説明】

会員企業の既存生産ラインを題材にして、9月から手引書作成開始、来年3月末に第一次報告書を作成する。

配布資料 1部

資料 304-4-1 「第4回リスクアセスメント委員会報告」

月例会説明資料

資料番号	資料名
304-2-1	「ロックアウト・タグアウト導入手順(参考資料)」
304-2-2	「LoTo と付加保護方策(OSHA, ISO/JIS、労働安全衛生規則、他での該当事項)」
304-4-1	「第4回リスクアセスメント委員会報告」